

第14回「大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会」 議事要旨

1. 日時

令和4年2月21日（月） 13:30～15:30

2. 開催方法

オンライン開催（Cisco Webex Meetings を使用）

3. 出席者

20 団体及び事務局

4. 議題及び議事概要

(1) 令和3年度の災害対応報告

- ・資料1を用い、事務局より説明（意見等なし）。

(2) 大規模災害廃棄物対策研修会の開催結果について

- ・資料2を用い、事務局より報告。

(3) 「広域連携チーム」図上演習の開催結果について

- ・資料3を用い、事務局より報告。

(4) 人材育成研修の開催結果について

- ・資料4を用い、事務局より報告。

(5) 「令和2年7月豪雨」災害対応の記録について

- ・資料5を用い、事務局より説明。

説明に対する意見交換は以下のとおり。

- ・実際に災害の現場で対応した方の話を聞くだけで終わるのではなく、我が街だったらどう対応するか、どう連携するかといったことを、研修等を通じて追体験するなど、今後フォローしていくことが必要ではないかと考える。
- ・災害対応の記録は非常に貴重な情報であるため、広く情報提供していただけるとよい。また、記録の冒頭に、災害の基礎的なデータとして、被災を受けた地域や被害棟数など入れてはどうか。
→【事務局回答として】 拝承。

(6) 行動計画の改訂について

- ・資料6-1～6-3を用い、事務局より説明。

説明に対する意見交換は以下のとおり。

- ・ブロック内連携とそれ以外の支援の役割が重複している場合、別の支援体制に一本化したとしても、九州ブロック協議会における体制、役割の継続は必要ではないか。
→【事務局回答として】 暫定的な内容として記載しており、別の支援体制に一本化することについても含め、今後改訂案を確定していくに当たって皆様との協議・確認が必要と考えている。仮に別の支援体制に一本化するとしても、ご指摘のように、九州ブロック協議会としての体制や役割は想定しておく必要がある。
→九州ブロックで連携を進めていくということであれば、環境省側で報告の仕方や書類のフォーマットの使い方などについて基本的な研修を行う場を設けるなど、人を育てていかないと、行

動計画で想定されている内容はなかなかうまく機能しないものとする。

- ・用語の説明の中に、『令和2年7月豪雨』災害対応の記録」でも出てきた「災害廃棄物対応マニュアル」を、災害廃棄物処理計画の内容をより詳細に記載したものとして加えてはどうか。
→【事務局回答として】単独の用語として追加するか、「災害廃棄物処理計画」の説明の中に追記するか、いずれかで対応を検討したい。

(7) 次年度以降のブロック協議会について

- ・資料7を用い、事務局より説明。

説明に対する意見交換は以下のとおり。

- ・協議会構成員が本音で意見を言い合えて顔の見える関係性を構築できる、合宿のような形式での開催について、九州地方環境事務所を中心にぜひ検討してほしい。

配布資料

出席者名簿

資料1	令和3年度の災害対応報告
資料2	大規模災害廃棄物対策研修会の開催結果
資料3	「広域連携チーム」図上演習の開催結果
資料4	人材育成研修の開催結果
資料5	「令和2年7月豪雨」災害対応の記録
資料6-1	行動計画の改訂方針について
資料6-2	大規模災害発生時における九州ブロック災害廃棄物対策行動計画 (令和3年度時点改訂案)
資料6-3	大規模災害発生時における九州ブロック災害廃棄物対策行動計画 ブロック内連携マニュアル(令和3年度時点改訂案)
資料7	次年度以降のブロック協議会について

以 上